

# 平成 22 年基準千葉市消費者物価指数の動向(平成 26 年 2 月分)

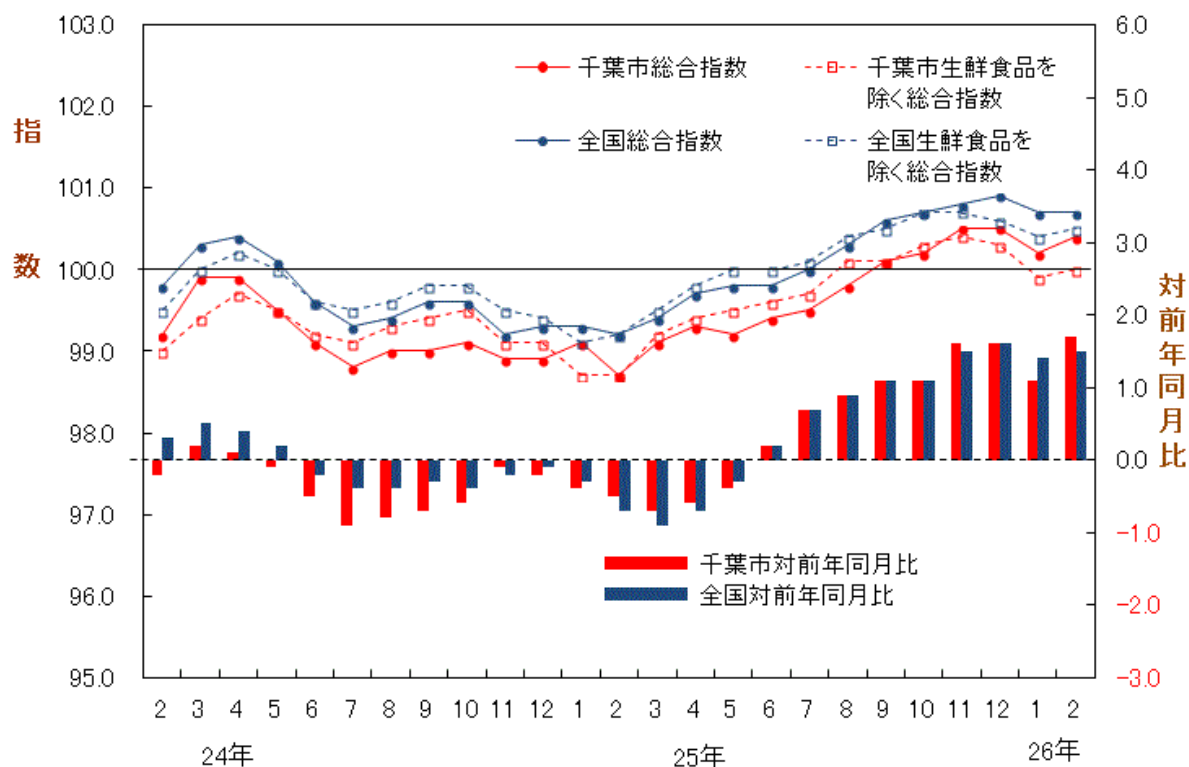
千葉県総合企画部統計課  
電話:043-223-2231  
ファクス:043-227-4458

## 1 結果の概要

平成 26 年 2 月の千葉市消費者物価指数は、総合指数で 100.4(平成 22 年=100)となり、前月比は 0.2%の上昇、前年同月比は 1.7%の上昇。

生鮮食品を除く総合指数は 100.0 となり、前月比 0.2%の上昇、前年同月比は 1.4%の上昇。

### 千葉市及び全国の消費者物価指数・対前年同月比の推移



## 2 前月からの動き(前月比寄与度)

今月上がった主な費目……………被服及び履物(+0.08)

今月下がった主な費目……………交通・通信(-)0.02

### 3 10大費目の動き

(1) **食料は 101.1** となり、前月比 0.2%の上昇

内訳をみると、生鮮魚介は(+2.6%、生鮮野菜は(-)0.1%、生鮮果物は(-)0.6%となった。

(2) **住居は 97.8** となり、前月比と同水準

内訳をみると、家賃は(+0.1%、設備修繕・維持は同水準となった。

(3) **光熱・水道は 117.2** となり、前月比 0.5%の上昇

内訳をみると、電気代は(+0.3%、ガス代は(+1.4%、他の光熱は(-)0.6%、上下水道料は前月同水準となった。

(4) **家具・家事用品は 91.3** となり、前月比 0.4%の上昇

内訳をみると、家庭用耐久財は(+3.6%、家事雑貨(-)0.3%、家事用消耗品は(-)1.5%となった。

(5) **被服及び履物は 96.7** となり、前月比 1.9%の上昇

内訳をみると、衣料は(+6.2%、シャツ・セーター・下着類は(-)1.9%、履物類は(+0.2%となった。

(6) **保健医療は 98.5** となり、前月比 0.1%の下落

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は(-)0.3%、保健医療用品・器具は(-)0.3%、保健医療サービスは前月同水準となった。

(7) **交通・通信は 103.0** となり、前月比 0.2%の下落

内訳をみると、交通は(-)0.2%、自動車等関係費は(-)0.3%、通信は前月同水準となった。

(8) **教育は 101.8** となり、前月同水準となった。

内訳をみると、授業料等及び補習教育は前月同水準となった。

(9) **教養娯楽は 94.1** となり、前月比 0.3%の上昇

内訳をみると、教養娯楽用耐久財は(+0.6%、教養娯楽サービスは(+0.2%となった。

(10) **諸雑費は 106.7** となり、前月比 0.2%の下落

内訳をみると、理美容サービスは前月同水準となり、理美容用品は(+0.2%となった。

#### 4 千葉市の10大費目指数(平成22年=100)

区分	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合
平成26年2月	100.4	101.1	97.8	117.2	91.3	96.7	98.5	103.0	101.8	94.1	106.7	100.0
平成26年1月	100.2	100.9	97.7	116.6	90.9	94.9	98.6	103.2	101.8	93.8	106.9	99.9
前月比(%)	0.2	0.2	0.0	0.5	0.4	1.9	-0.1	-0.2	0.0	0.3	-0.2	0.2
前年同月比(%)	1.7	3.4	-0.1	5.3	3.2	1.0	-0.3	1.3	0.4	0.2	3.9	1.4
前月比寄与度		0.05	0.02	0.04	0.01	0.08	-0.01	-0.02	0.00	0.03	-0.01	0.10

(注1)前月比(前年同月比)(%) = {(当月指数 - 前月(前年同月)指数) ÷ 前月(前年同月)指数} × 100

(注2)生鮮食品とは、生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物をいう。

(注3)寄与度とは、それぞれの項目の前月比が総合指数に対して押し上げた大きさを示したものだ。

(注4)指数は、平成22年基準の公表値による。